

1 はじめに

水道事業は、河川からの取水に始まり、お客さまに安全でおいしい水をお届けする過程において、電力を始めとする多量のエネルギーや薬品を使用し、地球温暖化などの環境問題の原因となる二酸化炭素や廃棄物を排出するなど環境負荷を伴う側面があります。そのため、事業運営に当たっては、より環境保全に配慮した取組を推進する必要があると考えています。

広島市水道局では、高効率電動機の採用やポンプ運転の効率化などによる省エネルギーの推進、水源の保全、資源リサイクルの推進など環境負荷の低減に向けて継続的に取り組んでおり、平成29年度においては、牛田浄水場の照明設備についてLEDへの更新を行い、エネルギーの省力化に取り組むとともに、省エネルギー効果が期待できる八木取水場の受変電所の整備に向けて調査を行ったところです。

この環境報告書は、広島市水道局が実施している環境負荷低減の取組状況やその成果を報告するもので、平成22年度から毎年度公表しています。

今後も、将来にわたって信頼される水道であり続けるために、お客さまのご理解とご協力をいただきながら、環境に配慮した事業運営に努めてまいります。

広島市水道事業管理者
広島市水道局長 野津山 宏

環境基本方針

広島市水道局は、長期的な事業運営の指針として平成21年度に「広島市水道ビジョン」を策定し、平成29年度に改定を行いました。

改定後の「広島市水道ビジョン」では、「将来にわたって信頼される水道」を基本理念として掲げるとともに、「環境負荷の低減」を主要事業として位置付け、省エネルギーや資源リサイクルの推進などに取り組むこととしています。

●基本方針

豊かな清流である太田川を次世代に引き継いでいくため、水源かん養林を整備し、関係機関と連携して水道水源の保全に努めます。また、省エネルギーや資源リサイクルを推進するとともに、取組状況を分かりやすく情報提供します。

●具体的な取組

- ① 水源かん養林の整備
- ② 流域自治体との連携
- ③ 省エネルギーの推進
- ④ 資源リサイクルの推進
- ⑤ 環境マネジメントシステムの運用

広島市水道ビジョンの詳細は、
ホームページをご覧ください。
<http://www.water.city.hiroshima.jp/jigyo/keiei/vision/vision.html>